

クラス番号	315	担当教員名	山田 壮志郎
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	貧困問題の視点から社会保障のあり方を考える		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

- 今日、日本において貧困問題が深刻化しています。貧困問題の解消は、歴史的に見ても社会保障・社会福祉の原点であり、その最終的なセーフティネットに位置付けられているのが公的扶助制度であり、まさに公的扶助の出番ともいえる時代状況にあります。しかし、現実の公的扶助制度は貧困問題の解消に必ずしも十分貢献しているとは言えません。
- 本ゼミでは、①現代日本における貧困問題がどのような現状にあるのかを学ぶこと、②そうした貧困問題を解消していくためにはどのような社会保障制度（とりわけ公的扶助制度）が求められているのかを考えることを目的とします。
- 貧困問題といっても多様な問題がありますが、本ゼミではホームレス問題を切り口にします。また、社会保障にも多様な領域がありますが、本ゼミでは生活保護制度を切り口にします。その上で、ゼミ生の個々の関心に基づき「貧困問題の視点からみた社会保障のあり方」に関する研究を進め、4年次の卒業論文にまとめます。
- 卒業後どのような分野で働くにせよ、社会福祉の専門家となるためには（あるいはそうでなくても）、貧困問題へのまなざしは大切です。一人ひとりのゼミ生が、自分なりの視点で貧困問題に関心を持つ力を身につけられるようになることを目指します。

授業計画：

- 本ゼミでは、「貧困問題の視点から社会保障のあり方を考える」ために、フィールドワークと文献講読を2本柱として学習を進めます。
- 3年次前期は、貧困問題の現状を学びます。フィールドワークとしては、希望する学生を対象に、日本最大の日雇労働者の街である大阪・釜ヶ崎地区への視察、名古屋地域でのホームレス支援活動への参加を計画しています。また、文献講読としては、ゼミ生の関心に基づき、貧困問題の現状に関するテキストや論文を読んで学習します。これらの学習を通じて、ゼミ生一人ひとりの研究テーマを模索することが前期の目標です。
- 3年次後期は、それぞれの研究テーマに基づいた卒業研究の計画を立てます。また、ゼミ全体での文献学習やフィールドワークも行いますが、具体的な内容はゼミ生の研究テーマや関心に合わせて計画します。3年次の春休みには、卒論執筆に向けた春合宿を実施します。
- 4年次は、卒業論文の執筆作業を進め、ゼミ内で発表して意見交換することがメインです。また、社会福祉士の国家試験受験対策学習もサブ的に行います。「社会保障論」と「公的扶助論」で国家試験 6 割を取ることは、国家試験を受験するか否かにかかわらず山田ゼミ生としてのスタンダードですので、ゼミ全体で学習を進めます。

担当教員からのメッセージ

- 一緒に楽しいゼミを作りましょう。ゼミは、学生の主体的参加が不可欠です。遅刻・欠席をしない人、積極的に発言できる人、意欲を持って学べる人を希望します。
- エントリーシートには、①貧困問題の中でも特に関心のあるテーマとその理由、②現段階での希望進路とその理由の2点を含めて記載してください。